

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|--------------------------------|---|------------------|---|-----|--------|---------|
| 221431068 | 臨床栄養学Ⅱ Clinical Nutrition Ⅱ | 平井あかり | | | 2 | 必修 | 3前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| <p>DP1・2・3・4に記載があるように、修得した建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力、直観力、自然体および人々の日常生活を健康の面から支援するために不可欠な専門知識・技能を活用し、社会的に自立して生きていくうえで必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付け、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践することができる管理栄養士の育成を目指す。</p> <p>この科目では、管理栄養士としての専門的な所見から、傷病者や要介護者の栄養状態の特徴に基づいた栄養管理についての基礎を理解する。さらに疾病の治療・増悪防止や栄養・食事支援を目的として、個別の疾患・病態や栄養状態、心身機能の特徴に応じた適切な栄養管理（栄養ケア）の方法について学習する。担当教員は管理栄養士として病院に務め、栄養指導や栄養・給食管理業務の経験がある。病院での臨床経験を生かした講義を行う。</p> | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| <p>① 栄養食事療法の流れと、各過程の具体的な知識を学修する。</p> <p>② 疾患の定義・病因・病態を学修する。</p> <p>③ 疾患別の栄養食事指導・生活指導の要点を学修し、栄養管理（栄養ケア）につなげる。</p> | | | | <p>① 栄養食事療法を理解し、各過程の具体的な知識を修得することができる。</p> <p>② 疾患の定義・病因・病態を理解することができる。</p> <p>③ 疾患別の栄養食事指導・生活指導の要点を理解し、栄養管理（栄養ケア）につなげることができる。</p> | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 授業内容の理解のために、テキスト等を使って積極的に自己学修をする。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | 授業内容の理解のために、テキスト以外の情報源を利用して学修する。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 予習や授業時に疑問点や自身に不足している点を見出し、教科書や参考書等を使って自己学修をすることで知識を蓄積する。 | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 今までに身に付けた知識を活用しつつ、さらなる知識の獲得のために自己学修をする。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 学修内容を分かりやすく整理し、まとめる。自分の意見を分かりやすく他者へ伝える。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 講義や他者の発言・意見をしっかりと聴く。 | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る。提出物は期限内に提出する。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| テキスト：エッセンシャル 臨床栄養学 第9版 佐藤和人 本間健 小松龍史編 医歯薬出版 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| <p>他科目との関連：「臨床栄養学Ⅱ」は専門分野の臨床栄養学分野の科目の一部であり、臨床栄養学Ⅰで獲得した知識を活用する。また「臨床栄養学Ⅲ」「栄養評価管理実習」「在宅栄養管理論」の基盤となる科目である。</p> <p>資格との関連：栄養士 管理栄養士 栄養教諭</p> | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| 予習を行い、今まで学んだ知識を整理して授業に臨みましょう。また、授業終了後は、知識定着のため復習をしましょう。 | | | | 予習と復習を必ず行い、提出物は期限内に提出すること。欠席をしないこと。やむを得ず欠席した場合は、配布資料を用いて自己学修し、次回授業時に提出すること。資料や課題の配布は、Google classroomを使用する。質問は、Google classroomでも受け付ける。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | | | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---|---|--|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 60 | ① | ✓ | | 到達目標①②③の基礎的知識が身に付いているか、内容が理解できているかを評価基準とする。 知識の獲得：40% 知識の活用：30% 課題の解決：30% | |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| | | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 30 | ① | ✓ | | 授業内容を理解できているかを確認するため、授業内で小テストを実施する。 ・出題範囲は、授業で学修した内容とする。 ・小テストは、復習に活用すること。 知識の獲得：70% 知識の活用：30% |
| | | | | | ② | ✓ | | |
| | | | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | | | | | |
| | | レポート | | 0 | ① | | | |
| | | | | | ② | | | |
| ③ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | | 0 | ① | | | | |
| | | | | ② | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | | 10 | ① | ✓ | | 【主体性】 予習として、学修内容の要点をPCRシートに記載することができる。 【実行力】 予習の際、不明な点を調べてPCRシートに記載することができる。 【課題発見力】 学修時に課題を発見し、その課題を解決した内容をPCRシートに記載することができる。 【創造力】 今までに身に付けた知識を活用しつつ、さらなる知識の獲得のために自己学修した内容をPCRシートに記載することができる。 【発信力】 PCRシートに分かりやすく記述することができる。 【傾聴力】 講義や他者の発言・意見をしっかりと聴くことができる。 【規律性】 提出物を期限に出すことができる。 | |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| | | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|---|
| <p>S(秀)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が90%以上</p> <p>A(優)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が80～90%</p> | <p>B(良)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が70～80%</p> <p>C(可)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が60～70%</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|--|--|--|-------|---|
| 1 | 臨床栄養学の基礎 臨床栄養学の意義と目的、疾患と栄養の関係を学修する | 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 臨床栄養学の意義と目的、疾患と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.327～329, 333～341を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 2 | 呼吸器疾患 肺炎、結核、気管支喘息、COPDの定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 肺炎、気管支喘息、COPD・先天性代謝異常症の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.133～142を読み、課題を行う。呼吸器疾患について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 3 | 血液系の疾患 鉄欠乏性貧血、その他の貧血、白血病等の血液系の疾患の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 鉄欠乏性貧血、その他の貧血、白血病等の血液疾患の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.179～190を読み、課題を行う。血液系の疾患について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 4 | 筋・骨格筋の疾患 変形性関節炎、サルコペニアの定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 変形性関節炎、サルコペニア等病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.213～221を読み、課題を行う。変形性関節炎、サルコペニアについて調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 5 | 免疫・アレルギー疾患 アレルギー疾患、膠原病・自己免疫疾患の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | アレルギー疾患、膠原病・自己免疫疾患の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.191～206を読み、課題を行う。免疫・アレルギー疾患について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 6 | 心身症・神経疾患 神経性摂食障害の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 神経性摂食障害の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.235～242を読み、課題を行う。神経性摂食障害について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 7 | 感染症疾患 急性熱性疾患、慢性消耗性疾患等の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 急性熱性疾患、慢性消耗性疾患等の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.207～212を読み、課題を行う。感染症について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 8 | 癌疾患 主に肝癌、大腸癌疾患の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 肝癌、大腸癌疾患の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.42, 33, 34を読み、課題を行う。対象の癌疾患について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|--|--------------------------------------|--|-------|---|
| 9 | 癌疾患 主に胃癌疾患の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 胃癌の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.243～250, 254～263を読み、課題を行う。対象の癌疾患について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 手術・周術期 術後後遺症患者の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 術後後遺症患者の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.254～263を読み、課題を行う。手術・周術期患者について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 11 | クリティカルケア クリティカルケアの定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | クリティカルケアの病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.250～253, 264～267を読み、課題を行う。クリティカルケアについて調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | 栄養障害 栄養失調症、ビタミン欠乏症等の低栄養障害の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 栄養失調症、ビタミン欠乏症等の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.227～234を読み、課題を行う。摂食機能障害について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 13 | 乳幼児・小児疾患 主に先天性代謝異常の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 先天性代謝異常の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.287～294を読み、課題を行う。乳幼児・小児疾患について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | 妊産婦・授乳婦疾患 妊産婦高血圧症候群、妊娠糖尿病の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 妊産婦高血圧症候群、妊娠糖尿病の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.300～306を読み、課題を行う。妊産婦・授乳婦疾患について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 15 | 老年症候群疾患 主に高齢者の認知症、褥瘡の定義・病態と治療について学修する | 小テスト(解説有) 課題の解説、講義 グループワーク 終了時確認テスト (Google Forms) | 認知症、褥瘡の病因・病態と栄養の関係について理解する。 | (予習)教科書p.316～323を読み、課題を行う。老年症候群疾患について調べる。 (復習)授業での疑問点を調べる。授業後テストの直しをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-----------|----------------------------------|------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 221432069 | 臨床栄養学Ⅲ Clinical Nutrition III | 林明日香 | ✓ | 専門 | 2 | 必修 | 3後期 |

科目の概要

この科目は、DP2に記載されている、臨床栄養の概念、傷病者・要介護者の栄養ケア・マネジメント、食品成分と医薬品の相互作用について学ぶ。また、傷病者や要介護者の栄養状態に基づいた栄養管理の実践方法を理解した上で、DP3記載の自立した社会人として総合的な栄養ケア・マネジメントを実践する方法について学修する。担当教員は教育機関や病院にて管理栄養士を34年間務め、栄養指導や栄養・給食管理業務の経験がある。この授業は臨床経験に即した講義を行う。

| 学修内容 | 到達目標 |
|---|---|
| ① 臨床栄養学の概念を学ぶ ② 傷病者・要介護者の栄養管理プロセスを学ぶ ③ 薬と栄養・食事の相互作用を学ぶ ④ 総合的な医療制度・介護制度について学ぶ | ① 臨床栄養学の概念を理解することができる ② 傷病者・要介護者の栄養管理プロセスを理解することができる ③ 薬と栄養・食事の相互作用を理解することができる ④ 総合的な医療制度・介護制度の把握から、栄養管理プロセスを理解し実践することができる |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

| | | |
|---------|-------------|-------------------------------------|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 主体性を持ちながら授業に臨み、課題に取り組むことができる。 |
| | 働きかけ力 | 多職種連携を意識し、周囲の人に働きかけができる |
| | 実行力 | 傷病者・要介護者のために栄養治療計画を具体的に提案することができる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 傷病者・要介護者の課題発見から、栄養治療計画の提案ができる。 |
| | 計画力 | 計画的に課題を実践し、期日までに提出できる。 |
| | 創造力 | 創造力を発揮しながら、個人に沿った栄養治療計画を提案することができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 必要に応じて、周囲の人に情報を発信することができる。 |
| | 傾聴力 | 傾聴力を発揮しながら、総合的な学びに繋げることができる。 |
| | 柔軟性 | 様々な問題に対し柔軟性を発揮し、物事に対応できる。 |
| | 状況把握力 | 状況把握しながら、栄養管理の実践や変更ができる。 |
| | 規律性 | 規律性を保ち、周囲の人に迷惑をかけない行動ができる。 |
| | ストレスコントロール力 | ストレスの状況においても、平常の力を発揮することができる。 |

テキスト及び参考文献

テキスト：NEXT栄養科学シリーズ 臨床栄養学実習第3版 塚原丘美編 講談社サイエンティフィック
 NEXT栄養科学シリーズ 新・臨床栄養学 竹谷豊他編 講談社サイエンティフィック
 参考文献：エッセンシャル 臨床栄養学 第8版
 ワークシート：課題シートをgoogle classroom内に用意します。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養学実習、栄養評価管理実習
 資格との関連：管理栄養士、栄養教諭

学修上の助言 **受講生とのルール**

| | |
|---|--|
| これまでに学習した臨床関連の知識を活用し、臨床栄養管理の総合的学修となるように、課題を活用し整理しながら、授業に臨むこと。 | ・課題シートは、臨地実習等で欠席した場合も、次回出席時には速やかに提出すること。 ・課題は期日内に提出が完了していること。 |
|---|--|

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | |
|--------|-----------------------|--------------------|-------|------|---|---|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 80 | ① | ✓ | ・臨床栄養学の概念、傷病者・要介護者の栄養ケア・マネジメント、食品成分と医薬品の相互作用を習得しているか確認します。 ・栄養治療計画では、傷病者・要介護者に対する栄養改善の実践が身についているか確認します。 社会人基礎力を含め評価し、S：90%以上、A：80～89%、B：70～79%、C：60～69% F：60%未満として判定します。 知識の獲得：到達目標の①～③より60% 知識の活用：到達目標の①～③より20% 知識の解決：到達目標の①～③より20% |
| | | | | ② | ✓ | |
| | | | | ③ | ✓ | |
| | | | | ④ | ✓ | |
| | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | 0 | ① | | |
| | | | | ② | | |
| | | | | ③ | | |
| | | | | ④ | | |
| | | | | | | |
| 平常評価 | レポート | 10 | ① | ✓ | 授業課題の提出状況と内容から総合的に評価します。 知識の獲得：到達目標の①～③より0% 知識の活用：到達目標の①～③より100% 知識の解決：到達目標の①～③より0% | |
| | | | ② | ✓ | | |
| | | | ③ | ✓ | | |
| | | | ④ | ✓ | | |
| | | | | | | |
| 平常評価 | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | 0 | ① | | | |
| | | | ② | | | |
| | | | ③ | | | |
| | | | ④ | | | |
| | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | （主体性）主体性を持ち授業や課題に取り組むことができる。 （実行力）栄養治療計画の創意工夫をすることができる。 （課題発見力）自己学習において課題発見し、改善点を見出せる。 （創造力）創造力を発揮し、栄養治療計画の変更を提案できる。 （発信力）必要に応じて、周囲の人に情報を発信できる。 （傾聴力）傾聴力を発揮し総合的な学びに繋げることができる。 （規律性）規律性を保ち期日内に課題を提出することができる。 | |
| | | | ② | ✓ | | |
| | | | ③ | ✓ | | |
| | | | ④ | ✓ | | |
| | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| 臨床栄養学の概念、傷病者・要介護者の栄養ケア・マネジメント、食品成分と医薬品の相互作用、栄養改善のポイントを十分理解した上で活用できる。筆記試験及び社会人基礎力が共に優れている者を、S（秀）とする。 | 臨床栄養学の概念、傷病者・要介護者の栄養ケア・マネジメント、食品成分と医薬品の相互作用、栄養改善のポイントを標準的なレベルまで理解し、活用できるものをB（良）とし、十分ではないが課題を期日までに提出でき、理解できている者をC（可）とする。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--------------------------|---|------------------------------|---|-------|------------------------------|
| 1 | 臨床栄養学の意義と目的を学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 臨床栄養学の意義と目的を理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p2～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 傾聴力 状況把握力 |
| 2 | 医療と臨床栄養を学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 医療と臨床栄養について理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p4～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 |
| 3 | 医療制度の基本を学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 医療制度の基本を理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p15～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 |
| 4 | 福祉・介護と臨床栄養を学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 介護制度の基本を理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p27～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 |
| 5 | 栄養管理プロセスの概要を学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 傷病者の栄養管理を理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p30～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 課題発見力 創造力 |
| 6 | 栄養アセスメントを学ぶ① ー人工透析症例ー | 講義 演習 google classroomでの課題シートのフィードバック | 栄養スクリーニングを活用し栄養評価を実施することが出来る | (予習) 学修内容のテキストの項目p248～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 課題発見力 計画力 創造力 |
| 7 | 栄養アセスメントを学ぶ② ー嚥下障害症例ー | 講義 演習 google classroomでの課題シートのフィードバック | 栄養スクリーニングを活用し栄養評価を実施することが出来る | (予習) 学修内容のテキストの項目p186～, p349～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 課題発見力 計画力 創造力 |
| 8 | 栄養診断を学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 栄養評価から栄養診断ができる | (予習) 学修内容のテキストの項目p57～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 実行力 創造力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--------------------------------------|---|-----------------------------------|--|-------|----------------------------------|
| 9 | 栄養介入 栄養管理に基づいた栄養治療計画を学ぶ① | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 栄養介入方法を理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p63～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 実行力 創造力 |
| 10 | 栄養介入 栄養管理に基づいた栄養治療計画を学ぶ② | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 栄養介入方法を理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p63～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 発信力 規律性 |
| 11 | モニタリングと評価、 栄養管理の記録について学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | モニタリングと評価、 栄養管理の記録について理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p89～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 発信力 規律性 |
| 12 | 食品成分と医薬品の相互作用① 薬物の作用と代謝について学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 薬物体内動態について理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p99～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 |
| 13 | 食品成分と医薬品の相互作用② 食品が医薬品に及ぼす影響について学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 薬物動態学的相互作用、 薬理学的相互作用について理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p101～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 |
| 14 | 食品成分と医薬品の相互作用③ 医薬品が食事に及ぼす影響について学ぶ | 講義 google classroomでの課題シートのフィードバック | 味覚、食欲、吸収排泄 の変化を理解している | (予習) 学修内容のテキストの項目p106～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 |
| 15 | まとめ 一フレイル症例一 | 講義 演習 google classroomでの課題シートのフィードバック | 栄養管理プロセスの概要を 理解し、実施することができる | (予習) 学修内容のテキストの項目p304～を読む。 (復習) google classroomにおける課題シートをまとめる。 | 180 | 発信力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力